

令和6年3月第1回定例会

新年度予算などを審議

2月29日から3月15日まで



令和6年度一般会計予算 修正案可決 37億2,363万円

新年度予算



道の駅の再整備事業については、市場調査の結果を踏まえ「慎重に取り組む必要がある」として、予算決算常任委員会から関連予算537万円を減額する修正案を提示し、37億2,363万円の修正可決となりました。

主な新規事業を抜粋してお知らせします。(千円以下を四捨五入)

●少子化対策推進

- ・中学校入学祝金(小学校入学を中学校にも拡充・1人10万円) 360万円
- ・住宅等活用補助(4戸以上の賃貸住宅を新築する事業者への補助) 村内 上限800万円
村外 上限400万円

●2050ゼロカーボン社会に向けた村づくりの推進

- ・役場庁舎への太陽光発電設備設置などに 4,681万円
- ・小中学校・屋内運動場の照明LED化に 6,236万円

●デジタル社会に対応した村づくりの推進

- ・国が進める自治体情報システム標準化に対応するための経費(国県費含む)
(戸籍システム標準化対応委託料 2,666万円 ほか)
- ・小中学校GIGAスクール構想事業 1,695万円
(デジタル教材・教職員用タブレットパソコン購入ほか)

反対

令和6年度一般会計予算に対する
討論(要旨) 山浦登 議員

- ・道の駅運営方向が未定での再整備予算は、村民意見や検討委員会を軽視。
- ・スキー場譲渡先と関係事業者・団体等との協議・情報共有・連携が不十分。
- ・昨シーズンにポールバーンをTheきじまスノーパークに変更し、今回ゴールハウスの撤去・移設費用が計上されている。競技スキー客への影響、リフト券の価格改定もあり、ペンションのスキー客の減少となっている。
- ・今国会に提出されている「食料・農業・農村基本法改定案」に対する危機感、対策案が見られない。

これらの理由により令和6年度一般会計予算に反対する。

賛成

令和6年度一般会計予算に対する
討論(要旨) 山本隆樹 議員

観光施設民営化等、村の大きな転換期の中での予算となる。

重点施策として、①少子化対策推進
②2050ゼロカーボン社会に向けた対策
③デジタル社会に対応した対策が挙げられている。

また、新たな取組みとして、民間活用の予算計画にもなっている。

今後、財政負担となる公共施設の維持管理の検証をし、企業連携、官民連携等で「活力ある村づくりの始まりの予算」と期待し、令和6年度一般会計予算に賛成する。

議 会

No.261



議会に対するご意見を
お聞かせください。

電話

☎0269(82)3111
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会

令和5年度一般会計補正予算(第9号) 2億2,281万円増額 可決 (総額 42億2,270万円)

補正予算



今定例会では、令和6年能登半島地震の災害救助に係る費用、繰替え運用するための基金からの繰入れや基金への積立、事業精算による減額などの補正予算を審議し、全会一致で可決しました。主な補正予算を抜粋してお知らせします。(千円以下を四捨五入)

【総務課】

- 総務費 3億927万円
年度末に一時的に不足する財源確保のために繰り替え運用したもの

【民生課】

- 社会福祉費 ▲1,261万円 (国県費含む)
 - ・低所得者世帯支援給付金事業 (▲160万円)
 - ・介護保険会計繰出金 (▲852万円)

【建設課】

- 道路橋りょう費 ▲1,337万円 (国県費含む)
 - ・一般道路維持費 (▲461万円)
 - ・小型ロータリー車更新の差金 (▲632万円)
 - ・橋りょう長寿命化事業 (▲245万円)

【教育委員会】 (国県費含む)

- 中学校費 ▲1,696万円
中学校照明LED化工事延期に伴う減額

条例の制定・改正



条例改正(15件)の内、主に住民の皆さんに直接関わるものを抜粋してお知らせします。なお、この欄では内容がわかりやすいよう、条例名を一部変えて表示しています。

●犯罪被害者等支援条例の制定

被害者等が受けた被害の早期回復に向け、それぞれの責務や役割、支援体制等を定めるもの。

●消防団員等公務災害補償条例の一部改正

消防団員が消防作業や救急業務等により死亡・障害の状態になった場合の補償額を増額するもの。

●奨学資金貸付基金条例の全部改正

奨学資金の貸付を適切に進めるための改正と条例名の変更。「奨学資金貸付条例」に変更

●若者住宅条例の一部改正

入居者の資格要件を「夫婦」から「親族」に拡大するもの。

●やまぶきハイツ(賃貸集合住宅)条例の一部改正

共用スペースの光熱費などを共益費として、家賃と併せて徴収するようになるもの。(これまでは居住者で徴収)

●介護保険条例の一部改正

介護保険事業計画の見直しに伴い、所得段階、保険料率を改定するもの。
※詳細は広報14ページをご覧ください。

●税条例の一部改正

国の税制改正に伴い、国民健康保険税について、課税の算定基準を改定するもの。

●特別職の職員(村長・副村長・教育長)の給与の特例に関する条例の一部改正

1年ごとに条例で定めている削減額(率)について、令和6年度の額を定めるもの。

	条例の基本額	令和6年度	令和5年度
村長	718,000円	646,200円 (△10%)	574,400円 (△20%)
副村長	603,000円	572,800円 (△5%)	542,700円 (△10%)
教育長	528,000円	501,600円 (△5%)	475,200円 (△10%)

《賛否の分かれた議案の結果》

議案	議員名								結果
	関達夫	湯本直木	湯本行浩	山本隆樹	山浦登	丸山邦久	江田宏子	山崎栄喜	
令和6年度一般会計予算（修正案）	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
令和6年度一般会計予算（修正を除く部分）	○	○	○	○	×	×	○	○	可決
請願第1号 ※概要は下段	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択
特別職等の職員との給与の特例に関する条例の一部改正	○	×	○	○	○	×	×	○	可決
議員発議第1号 ※概要は次のページ	○	×	○	○	○	○	○	○	可決

■表の説明：○賛成、×反対
 （議長は議決に参加しないため、議員名から外しています）

みなさんからの請願・陳情

受理番号	件名	結果	対応・理由等
令和5年 請願第3号 （継続審査）	平和、いのち、くらしを壊し、市民に負担を強いる軍拡、増税に反対する請願	継続審査	主旨は理解するが、国の防衛規模等については判断が難しく、結論が出ないため。
請願第1号	だれもが投票に参加し易くするために、投票所、掲示場の再編計画案の再考を求める請願書	不採択	請願項目のうち、「移動投票所の設置」や「若年有権者の投票立会人の採用」などによる「投票率向上の施策は講じるべき」と全委員が同意し、「一部採択」も検討したが、請願者の最大の願意は、標題の「投票所や掲示場の再編計画案の再考を求めること」と判断。 区長会やパブリックコメント等においても、当事者から大きな反対の声は無かったことから、賛成少数で不採択とした。
陳情第1号	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	継続審査	主旨は理解するが、拙速な判断はできず、結論が出ないため。

「令和6年3月定例会の審査意見」

委員会に付託された議案について審査し、次の意見をまとめました。
 村の対応は、6月議会定例会の初日に報告されます。

【予算決算常任委員会】（令和6年度一般会計予算に対して）

意見① 「役場庁舎の夜間の宿直業務」について、専門業者へ委託する計画が示された。安全管理や村民対応などが低下することのないよう、事業者との調整・連携を密に図りたい。

意見② 「温泉施設の入湯税」について、公平性の観点からも実態を確認し、今後の徴収に関して検討されたい。

意見③ 「観光地域づくり推進事業」として、これまで同様、観光振興局への運営補助金交付のほか、体制強化のため、新たな「地域活性化起業人」や「地域おこし協力隊」の採用を予定している。誘客や関係人口の拡大などDMOをめざし、観光振興局の役割を十分果たすよう、指導されたい。

意見④ コロナ禍を機に、夏祭りはじめ、村の事業等への参加者の減少が見られる。多数の参加を期待できるような内容や取組みを検討されたい。

議員発議

衆・参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣に意見書を提出しました。

日本政府が「日本国憲法の理念」を生かし、イスラエルの地上侵攻と空爆の即時停止と平和的解決に全力を尽くすことを求める意見書の提出について（要旨）

パレスチナ自治区のイスラム組織ハマスが10月7日、イスラエルに対してロケット弾攻撃と地上での戦闘を開始し、130人を超える人々が人質とされました。これに対しイスラエル軍が報復攻撃を激化させ空爆、地上戦を拡大する中、死者は2万人を超えています。その3分の2は子供です。このイスラエルの攻撃は国際人道法違反のジェノサイド、戦争犯罪です。双方とも安保理決議を受け入れ戦闘を停止すべきです。平和憲法を持つ日本は、いまこそこの理念を生かし、即時停戦へ最大の努力を尽くすべきです。

よって木島平村議会は、日本政府がイスラエルの地上侵攻と空爆の即時停止を働きかけ、平和的解決に全力を尽くすことを求めます。

12月定例会以降の議会活動

地方自治政策課題研修会（1月19日）長野市・YouTube配信

「第18回長野県地方自治政策課題研修会」が開催され、山崎史郎内閣官房参与に「人口減少と少子化対策について ～異次元の少子化対策とは～」のテーマでご講演いただきました。

直面する人口減少への対応は重要な政策課題となっています。世界に類を見ない人口減少・少子高齢化を先送りしない対応の必要性。この大幅な人口減少・少子高齢化が継続する前提として、日本の経済・社会を持続可能なものとしていく必要があります。この大幅な人口減少・少子高齢化が継続する前提として、日本の経済・社会を持続可能なものとしていく必要があります。先送りせずに、これまでの制度・政策・慣行等を抜本的に変え、量的拡大から転換し、戦略的縮小による、持続可能な質の高い社会の構築が求められています。



県内町村議会の実態について報告

議会運営研修会（1月24日）

松本市において、県町村議会議長会主催による議会運営研修会が開催されました。

「本会議・委員会における議案・請願等の審議・審査の充実のため」また「議会の活性化と適正な議会運営を図ること」を目的に、県議長会から「町村議会実態調査結果の概要及び議会運営に関する照会事例」、全国議長会から「地方議会の運営」の講義が行われました。

早稲田大学地域連携ワークショップ（2月14日）

2月13日～16日、早稲田大学の学生が来村し、議会を代表して議長と副議長が学生と懇談しました。

平成21年から始まったこの事業は15年目。今年のテーマは「木島平村を今よりもっと『移住したくなる』村に！～SNSを活用した木島平村の知名度アップ作戦を考えよう～」です。

最終報告会は、3月19日に開催されました。詳細は広報12ページをご覧ください。



学生との懇談の様子

このほか、オンラインセミナー「条例の制定・改正に関する議案のチェックポイント」、議会の人権研修・ハラスメント研修として、厚生労働省がインターネットで公開している「明るい職場応援団」のハラスメントオンライン研修を受講しました。

表彰

全国町村議会議長会（自治功労者）表彰

この度、議会議員として15年以上在職された方を対象に、全国町村議会議長会から長年の功績をたたえ、自治功労者表彰が授与されました。

今回の表彰者は県内で6名おり、本村では江田宏子議員が表彰され、全員協議会において勝山議長から伝達されました。

江田議員は平成15年に議員に初当選して以来、現在6期目で21年目を迎えました。



江田宏子 議員

選挙

●選挙管理委員・補充員の選挙

任期満了に伴い選挙を行い、委員・補充員が決定しました。

【選挙管理委員】

湯本 寛文さん（柳久保）
本山 博一さん（平沢）
小林 敏彦さん（原大沢）
日墓 修好さん（内山）

【選挙管理委員補充員】

本山よし子さん（中村）
森 育水さん（中町）
高橋 由次さん（大町）
丸山 武明さん（中島）

各議員の一般質問の項目

3月6・7日に8人が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は来月（5月号）の議会だよりに掲載します。

第1日目（3月6日）

1 関 達夫

- ①役場のBCP（業務継続計画）は
- ②観光業への寡雪資金対応は
- ③リスクマネジメントは機能しているか
- ④交通災害共済の全戸加入は必要か

2 山崎 栄喜

- ①住宅の耐震改修について
- ②学校給食費保護者負担の軽減について
- ③道の駅ファームス木島平について

3 山浦 登

- ①村投票区・投票所の再編に伴う投票所の計画について
- ②令和6年度一般会計当初予算について
- ③防災・災害避難計画について
- ④スキー場観光事業について

4 山本 隆樹

- ①にぎやかな過疎村へ
- ②第6次総合振興計画の対応と検証

第2日目（3月7日）

1 江田 宏子

- ①広域連携について
- ②観光施設の民営化について
- ③子どもたちが健やかに育つ環境づくり

2 湯本 直木

- ①今年度のインバウンドの対応、評価は
- ②観光施設一部完全民営化のその後の対応について
- ③公共施設貸付料の滞納について
- ④行政職員への危機管理について
- ⑤村有財産の有効活用について
- ⑥現在進行中の公募の進捗状況について

3 丸山 邦久

- ①スキー場の現状と今後について
- ②地域おこし協力隊の起業支援について
- ③木島平フィロソフィについて

4 湯本 行浩

- ①スキー場関連の事業者の現状について
- ②木島平村の観光と地域活性化起業人について

次回定例会の開催予定

【6月議会定例会】 ※現時点での予定です。

- 開 会 日 5月31日(金)
- 一般質問① 6月5日(水)
- 一般質問② 6月6日(木)
- 閉 会 日 6月13日(木)

請願・陳情の受付締切日

5月15日(水) 午後5時
 議会事務局へ直接お持ちいただき、
 事務局員に説明をお願いします。



定例会・臨時会の会議録は、どなたでもご覧いただけます

会議録は、定例会・臨時会の本会議記録を載せています。
 次の場所・方法で閲覧できます。
 ・役場2階の議会事務局での閲覧(平日午前8:30~午後5:15)
 ・村公式ウェブサイトに掲載

木島平村で検索して、次のように進んでください。

公式ウェブサイト(トップページ下段)の [木島平村議会](#) → [会議録](#)

※3月定例会会議録は、現在作成中のため次回定例会までに掲載予定です。



スマートフォン・タブレットからは、QRコードの読み取りでご覧いただけます。

議会を傍聴しませんか

本会議は、ふう太ネットで生放送していますが、ぜひ、議会を傍聴してみませんか。
 傍聴席は、役場2階 議場後方が入口です。



議会だより編集委員

- | | | |
|-------|------|------|
| 委員 長 | 江田宏子 | |
| 副委員 長 | 山本隆樹 | |
| 委 員 | 山浦 登 | 関 達夫 |
| | 湯本直木 | 湯本行浩 |

ちょっと いっぷく

編集後記

65年前、保育園での給食は何を食べたか全く覚えていないが、甘い匂いの粉末が大きな紙でできた丸形のドラム缶のような容器に入っていた脱脂粉乳だ。こっそり指でなめてみた。そこを先生に見つかり怒られたことが忘れられない。

幼い頃、みんなが貧しく、子供たちの体づくりのために、進駐軍によりパン食の給食が整えられた。今は、栄養管理された給食をおいしく頂いている。毎日でわからないかもしれないが、当地の「コメはうまい。孫が家に来ると、おかずいらずでごはんだけをいくらかも食べる。(おかずもないが)夕食時、ばあばとじいのごはんは無くなってしまふ。ここは不便な田舎だが誇れるものがある。

平成27年に策定した村の総合振興計画がここで終了する。令和7年からの新たな計画に向けて今忙しい。当時、村の人口は4597人、65才以上34.8%、令和7年の見込みは4003人、同39.5%。そして、令和6年現在の人口は、4143人(広報きじま平3月号引用)である。

推移は困ったことだが正確である。計画は各集落で地区づくりの目標を立て元気づくりをしてきたが、コロナ感染症がそれを奪ってしまった。これを教訓に新たな村づくり、少子化を回復するにはどうするかなど村民皆で知恵出して、持続可能な村を描きましょう。

せきたつお